



## 今年も楽しく！ 第10回定期総会終了

6月20日、第10回定期総会が無事終了しました。提案された4つの議案も承認され、令和5年度が順調に滑り出しました。

主催者挨拶で黒川会長が、「ワクワクの小さな種を、皆で大きく育てたい。一緒に楽しくやりましょう」「最近の理事は動いているねと良く言われる。今回の総会も皆で手分けして準備した」と話すと、来賓の小谷野市長の挨拶が、「狭山市には前期高齢者、後期高齢者ではなく、元気高齢者が必要。ワクワク、ドキドキはこの町にもたくさんある」と続きます。今年は地区やクラブの活動だけでなく、久しぶりに楽友会全体での事業も計画されています。具体的にはこれからですが、今年の理事はやる気満々。期待してください。

総会後はピアノトリオ『イリス』の演奏です。1台のピアノからとは思えない迫力ある音が場内に響き渡ります。6本の手でクラシックからジャズまで次々に演奏されました。そしてリズム手遊び。イリスの皆さんのリードで会場に大きな拍手が起こります。終わると懐かしの童謡から歌謡曲までをピアノ伴奏で歌いました。アンコールはくるみ割り人形と青い山脈の大合唱。会場には優しい歌声が流れ、皆さんも満足されたようでした。イリスの皆さんの演奏は右のQRコード(YouTube)から見られます。是非ご覧ください。

最後は交流会。さやま市民大学前学長小山周三様の乾杯の発声で、あちこちでグラスならぬビール缶や紙コップがぶつかり合い、一気に場が盛り上がります。「交流会は企画無し。それぞれが輪になって楽しんでください」の会長の言葉通り、あちこちで話の輪が広がり楽しい時間を共有しました。



挨拶する黒川会長



## お知らせ

### その1：犯罪被害者支援ミニセミナー

今回のミニセミナーでは、楽友会理事の佐藤咲子さんが基調講演で話されます。佐藤さんは両親を強盗殺人で亡くされた犯罪被害者ご遺族でもあります。参加無料、事前申し込みの必要はありません。どなたでも参加できます。

日時：7月19日(水) 13:30～

場所：狭山市民交流センター コミュニティホール



### その2：ヤマユリが見頃！

稲荷山公園見晴台下に咲くヤマユリ。山ゆりの会の福田朝男さんたちが2016年から手入れして、今では都内からも見学者が訪れます。7月上旬頃が見頃。大輪の甘い香りでお出迎えます。今年も是非会いにいらっしゃってください。

# 「義高ウォーク」黒子参加体験記

コロナも落ち着き、新緑が萌え、気分よく徘徊できる季節になりました。そんな中で“狭山の風物詩”に定着した「義高ウォーク」は、コロナ中断はあったものの今年は“7回目”を迎えました。「一度は挑戦したい！」とと思っていましたが、「嵐山まで27km」にためらいが…。考えたのが「コネ」を使って黒子に紛れ込むこと……。以下、その体験からその様子を報告します！

黒子になってすぐに招集され、5月1日は全コースの再確認と“幟旗”を立てるポイントの確認、幟旗の組立がありました。3日の午後からはその幟旗を毛呂山町の民族資料館まで立てていき、家に帰ったのは9時を過ぎていました。毛呂山からゴールまでのポイントに幟旗を立てるのは、今年からは頼もしい助っ人企業さんらが担当してくれたそうです。



オープニングセレモニー  
小谷野市長と吉岡実行委員長



当日は7時集合で、即ミーティング。エクセルで作成した「マンパート表」に黒子17名の役割分担が時間単位で割り振られています。黒子全員のスマホが「グループLINE」で結ばれ、問題や状況説明と対策が直ぐにとれるシステムになっています。参加者に記念バッチとマップが配られました。マップはQRコードを読み取ればコース全体と自分の歩いているポイントが分かるようになっていて、今回吉岡義高ウォーク実行委員長の自慢の一つでした！

こんな準備仕立に150名の参加がありました。8時からのオープニングセレモニーは小谷野市長の挨拶から始まり、関係者の紹介や注意事項伝達、夏日との予報から熱中症対策、看護師さんの音頭でのストレッチ体操から集合写真と続き、8時半にいよいよスタートです。安全を考慮し、小グループで時間を区切って出発します。最後に出たのは市長のグループでした。

コースの詳細についてはスペースが無いので省略しますが、鎌倉街道を通じた歴史ストーリー仕立てなのです。コロナ前に比べ減ってはいましたが、歴史ガイドの会のメンバーが要所々で説明し、当時の想いや景色をみて一日を楽しむウォークです。冷たい飲料の接待もあります。疲れたら途中3ヶ所リタイヤ路があり、歩けなくなったらサポート班が車で送る用意もしています。ここには中川県議も加わって最後まで活躍していました。

毛呂山町民俗資料館が昼食ポイントで、毛呂山町観光協会メンバーが協力してくれています。さらに、疲れの出る頃の登り坂「笛吹峠」からゴールの大蔵館までは、嵐山町観光協会メンバーの協力となります。この関係は初回からのお付き合いで、この義高ウォークの『肝』の一つです。

先頭がゴールに到着したのが13時前、最後のグループは17時半過ぎに到着で111番目でした。途中グループLINEにいろいろな問題が表示されましたが、その都度速やかに対策され、無事に終了出来ました。

